

## 助成活動実績報告書

企画名	里山再生プロジェクト
団体名	あかいわ美土里の和
<p>① 活動の目的について</p> <p>「赤磐市の自然環境を永続的に保持し、人と自然とが共存する循環型のまちづくり」を理念に生物多様性を維持する里山づくりをみんなで協力して活動することを目的とする。</p> <p>②内容について（学習会、集会などは開催日や内容、参加者数など。設備・物品購入などの発注、納品、竣工、支払いなどの案件に関わる事実の掲載）</p> <p>* 4月20日（日）ツツジ花見の会 参加者15名</p> <p>* 5月11日（日）こどもとおとなの自然ふれあい教室 参加者39名（大人24名、子供15名） ★今回のサワガニ、シュレーゲルアオガエル、ヤマサナエトンボをはじめ、3年間の観察会で貴重種を含む生き物を多数確認している。</p> <p>* 5月18日（日）里山整備作業 参加者8名 ★春1番の下草刈り実施</p> <p>* 6月8日（日）初夏の森林散策と野草でお茶づくり 参加者10名 ★里山の恵みを生かした当会オリジナルの健康茶づくり講習会を実施。里山で採取した野草、葉草8種類を使用したブレンド茶を作った。</p> <p>* 6月21日（土）設立3周年記念のつどい 参加者41名 ★基調講演を伊藤國彦先生、パネリストに友実武則赤磐市長・岡山の自然を守る会理事友延栄一氏・森林インストラクター2名にて「里山を考える」をテーマにこれからの活動のあり方を話し合った。</p> <p>* 8月23日（土）24日（日）里山で学ぶ木工教室 参加者延42名（大人20名、子ども22名） ★今回で3回目。スプーンや肩たたき、壁掛け、帽子掛け等、里山らしい実用品が目立った。</p> <p>* 10月25日（土）26日（日）桜が丘いきいき交流センター第11回文化祭 参加者不明 ★14年度行事の活動報告を写真パネルで展示、ワークショップではリーフクラフト、リーフ押絵を実施した。多くの市民に里山の意義と楽しさをアピールすることができた。</p> <p>* イベント前に事前里山整備活動を実施。 ★下枝刈り、下草刈りを行い安全に留意している。</p> <p>* 当会の助成対象外活動 ★県の助成対象活動として2回一般公募の整備を実施、多くの市民の参加を呼び掛けている。 ★5月昨年に続き地元桜が丘保育園が磐山で遠足を実施したが、今回はあすなる保育園も参加した。会員が道案内の手助けをした。 ★6月赤磐市民活動支援センター「どんぶらこ」と里山で交流会を実施。 ★9月山陽西小学校学校生徒27名、保護者&amp;学校ボランティア16名が里山で遊ぶ。 ★11月に昨年に続きツリーライティングを実施した。 ★2015年1月、地元町内会役員会主催「磐山で初日の出を見る会」に参加、協力。</p>	

### ③この活動によって達成された成果

#### ※里山整備作業によって達成された成果

当会の設立目的である「自然環境を永続的に保持」するために欠かせないもので、1丁目1番地の活動である。4年間の活動により人と自然とが共存する環境が整備されつつある。結果以下の活動成果を上げることができた。

#### ※自然観察会によって達成された成果

5月の調査でサワガニ等の生育が確認され森を流れる小川は生物多様性の源であることが確認された。7月の調査ではシナアブラギリの種子が発芽し成長している姿が確認されている。改めて目的の1つ「生物多様性を維持する里山づくり」が実践されていることが確認できた。

#### ※「磐山」でのワークショップによって達成された成果

①昨年の自然を食する集いに引き続き、6月の「野草でお茶作り講座」を実施した。「自然から恵みをいただく」という里山の原点を見直す活動の一つとして効果があった。

②里山整備で発生した木を利用した「里山で学ぶ木工教室」は今回で3度目の実施。毎回ユニークな作品が作られてきたが、今回はスプーンや帽子掛けなど、日用品が目立ち、「里山からの恵み」を自覚するようになっている。

◎以上のことから里山の意義が理念から現実的実用として広がり始めたと思う。

#### ※設立3周年記念のつどいによって達成された成果

6月1日で満3年の節目を迎えた。3年間の活動成果発表と今後の取り組みについて考えるパネルディスカッションを県立大学名誉教授伊藤国彦先生・友実赤磐市長をお招きして行った。多くの有益なアドバイスを得る成果があった。取分け赤磐市の生物実態調査に取り組むことを市長臨席の場で確認されたことは大きな成果であった。

#### ※赤磐市桜が丘いきいき交流センター文化祭参加によって達成された成果

昨年に続き2度目の参加で、ある程度知名度もあり活動アピールに効果があった。

### ④今後の計画・展望について

#### ※今後の計画

①一般公募による年2回の里山整備作業の継続②会員による月1回（第3日曜日）の里山整備作業③一般公募による年2回以上の自然観察会の継続④磐山でのワークショップ及び展示会場・シンポジウムの継続開催④町内会や他団体との交流を深める。

以上、「継続は力なり」を信じ、しかもマンネリ化にならないように注意しながら、手作りで地道に回を重ねていく。

#### ※展望について

①4年間の活動を通じて当会の存在が認められつつある。

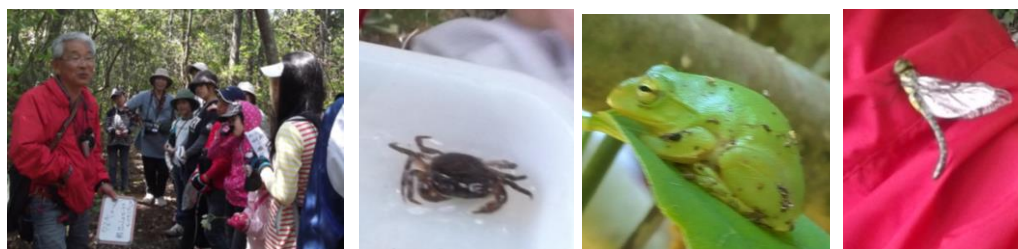
②地域との連携が拡大している。（地元保育園・山陽西小学校ボランティア団体・山陽公民館・赤磐市民活動支援センター地元町内会）

③HPの閲覧が増加し、市外からの認知が広がっている。

以上の成果により地域住民が森林に親しみ、里山を大切にする機運が高まりつつある。特に子どもとその若いファミリーと保育士の参加で若返り、将来の展望が明るい。

⑤ 写真等参考資料

① 5月11日(日)  
こどもとおと  
なの自然ふれ  
あい教室



説明風景 サワガニ・シュレーゲルアオガエル・ヤマサナエトンボ

② 5月18日(日)  
定例里山整備



観音山登山口作業前と作業後

磐山C登山口作業前と作業後

③ 6月8日(日) 野草でお茶作り



野草収集風景・野草・できたお茶で乾杯！

④ 6月21日(土) 設立3周年記念のつどい



「里山を考える」パネルディスカッション

⑤ 8月23・24日  
里山で学ぶ木工  
教室



素材集め 作成風景 完成品：ハンマー&肩たたき 菜箸

⑥ 10月25・26日  
桜が丘いきいき交  
流センター文化祭



ワークショップ：作成風景と作品展示風景